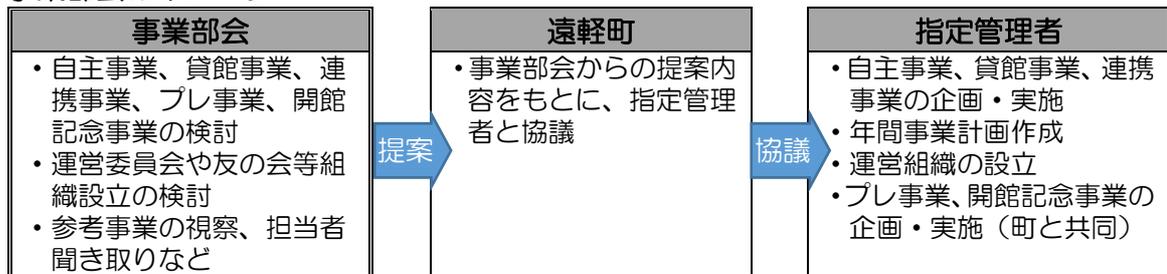


## （仮称）えんがる町民センター建設検討協議会における事業部会の設置について

### 1 部会の設置目的

（仮称）えんがる町民センターが中心市街地に新たなにぎわいや人と人との交流を創出し、音楽を中心とした芸術・文化活動の拠点となるためには、「自主事業」、「貸館事業」、「連携事業」を積極的に取り組むことが重要です。これらの事業については、開館後のスムーズな実施に向け、できる限り早い段階で検討調整を図る必要があるため、「事業部会」を設置します。

### 2 事業部会のイメージ



### 3 スケジュール

事業部会の作業期間は、平成30年2月から平成30年12月までとします。

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
	施設部会	町民センター建設	備品	開館	指定管理業務
	管理部会	指定管理者協議（町）	指定管理準備業務（指定管理者）		
	事業部会				

### 4 委員及び人数

事業部会の委員は、（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会委員から選出するとともに、「遠軽町（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会要綱」第8条第4項の規定により、事業部会に関係する団体から委員以外の者の出席を求めることとします。

構成団体	選任理由	人数
検討協議会	基本設計及び管理運営に関し、識見を有している	3名程度
遠軽商工会議所	指定管理予定者	1名
遠軽町教育委員会	文化連盟に関する事務、がんぼう大学等各種事業企画	1名
その他	必要に応じ、施設利用関係団体等から出席を求める	—

参考：遠軽町（仮称）えんがる町民センター建設検討協議会要綱第8条第4項  
検討協議会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な協力を求めることができる。

### 5 事業部会による具体的検討内容

#### （1）自主事業について

主に大ホールを利用した様々なジャンルの公演事業を企画し、地域の人々にできるだけ多くの鑑賞機会を提供します。

事業の実施に当たっては、社会教育団体や教育委員会との連携はもとより、道内自治体の文化ホールとネットワークを組んで公演を企画・製作したり、プロの楽団・劇団との提携や住民参加型のコンクール・フェスティバルの開催など、多彩な事業展開を行います。

（例）ジャズピアノコンサートなどの企画、事業費の算出など

## (2) 貸館事業について

町民や文化団体、学校等に大ホールをはじめとする諸室を提供します。

貸館事業は、町民センターにとって大きな収入源となる重要な事業となりますが、窓口でのトラブル対応などを適切に行い、利用者にとって気持ちよく利用していただけるよう、常にサービスを高める必要があります。

(例) パンフレットや利用案内の作成、利用促進策など

## (3) 連携事業について

町民センターが地域において、文化面から町の活性化を図り、「町民のよりどころ」となるために、地域住民や関係団体などの外部と積極的に連携します。

### ア 地域住民との連携

町民センター運営のサポーターとして地域の人々を取り込み、事業企画や運営業務の支援やボランティアを行う友の会などの組織づくりを考えます。

(例) 友の会の設立方法（会報や割引などのサービス内容）など

### イ 学校との連携

町民センターににぎわいをもたらすためには、学校教育や社会教育との連携は重要であり、特に将来に向かって施設が愛され続けていくために、子供たちや青少年が日常的に利用される施設作りが大切です。芸術文化事業の提案や施設運営に係るアイデアなどの連携手法を考えます。

(例) 児童生徒による運営組織の設立など

### ウ 他館との連携

音楽ホールや文化センターとのネットワークを構築し、共同公演や情報交換を行うことにより、効率的な事業実施や経費の節減を考えます。

(例) 湧別町や紋別市との連携など

### エ 各種団体との連携

交流ホールやホワイエなどの「えんがるストリート」の機能を最大限に活かすため、あらゆる団体と連携し、各種イベントによる施設の活性化を考えます。

(例) ホワイエを利用したフリーマーケットやPRイベントの企画など

## (4) プレ事業・開館記念事業

町民センター開館後における事業計画を踏まえた、プレ事業・開館記念事業を実施します。

### ア プレ事業

町民センターの開館に向けて、早い時期から施設の周知を行うとともに、期待や関心を高めるようなイベントを既存の公共施設などを活用して実施し、町民や関係団体との協力連携により企画・実施するものです。

(例) 建設現場見学会、福祉センターお別れイベント、ワークショップなど

### イ 開館記念事業

開館記念事業は、完成した施設を使用して最初に行う事業であり、町民をはじめとする多くの関係者とともに完成を祝うとともに、新しい施設の設備や機能を周知する重要な機会となります。早い時期からどのような事業を行うか計画する必要があります。

(例) 楽団、歌手による公演、吹奏楽による演奏会、屋外イベントなど